

そよかぜだより

2008
3月号

今年も雪も何回か降りましたが、3月に入り少しずつ日が落ちるのも遅くなり、暖かくなってきました。お花も味き始め、お散歩にはちょうど良くなってきましたね。

3月といえば、ひな祭り、ホワイトデーといった行事。そして卒業のシーズンでもあります。

卒業というとなんだか寂しいような、そして昔を思い出して懐かしいような気持ちになります。

卒業式に歌った曲や、「卒業してもずっと仲の良い友達でいようね」なんて話した友達との学校生活での思い出が思い出されたり...。懐かしいものです。

ところで、今年の桜は3月下旬から咲き始めるとのこと。キレイな桜の下で沢山の食べ物と飲み物がある中でのお花見。今からワクワク楽しみですね。(結局、食に走ってしまいました。笑)



一言メモ

アングルアクア



- ・L字型タイプの歯間ブラシ。
- ・折れにくい高強度ワイヤーを採用。
- ・根元部を樹脂でコーティングしたことで、よい強度を強化。
- ・持ちやすい長めのハンドルで、操作の安定性を可能に。
- ・奥歯にも使いやすい角度で、頬側、舌側のどちらからでも使いやすい。
- ・サイズはSSS~LLまであるので、ご自身に合ったサイズを選べます。

「むし歯」

むし歯はむし歯(ミュータンス)菌が産生する酸で歯が溶かされ、歯が崩壊される病気です。この菌は歯垢の中に多く存在します。そのため、歯垢が貯まりやすい部分にむし歯になりやすい部分になります。今回は目で見て分かるむし歯についてまとめました。

むし歯になりやすいところ

・歯と歯の間 ・歯と歯ぐきの間 ・奥歯の溝

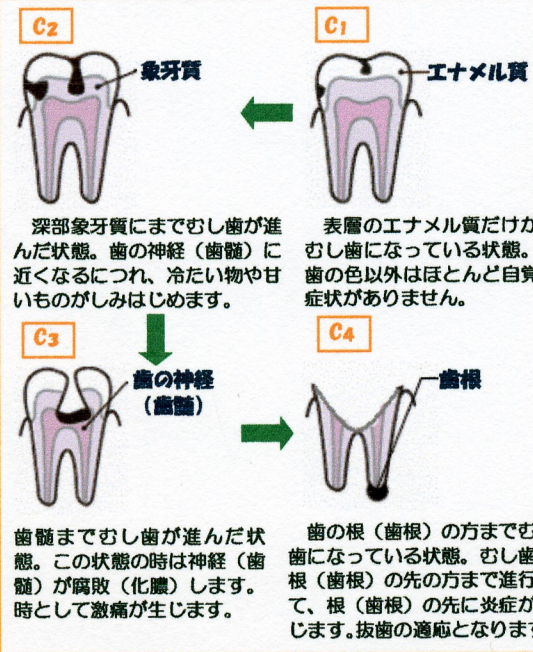
子供の歯

乳歯や生えてきたばかりの永久歯は歯質が弱く、酸で解け易いので早く進行します。

大人の歯

永久歯の歯質は硬いため、酸で解け難いので、ゆっくり進行します。加齢によりエナメル質が覆われない歯根面が露出し、この部分は、酸に対して弱いのでむし歯になりやすいです。

むし歯の進み方



そよかぜ歯科医院の URL
<http://soyokaze-dc.co>

今月の豆知識 ひなまつり

女の子のすこやかな成長を願う行事「雛祭り」。桃の節句として親しまれています。ひなあられやちらし寿司、白酒を飲食したり、男雛、女雛が中心の人形や桃の花を飾りますが、この男雛、女雛は実は関東と京都では、飾る位置が逆なんです。親王(男雛・女雛)は、天皇・皇后をあらわします。京都では、今も昔と同じで向かって右が男雛。左が女雛。東京では、東京の雛人形業界が昭和天皇の即位式を参考に位置を決めたことから、西洋のしきたりで、左が男雛になりました。



院長より

今月号は、眼で見てわかるむし歯の進み方とその特徴についてまとめました。むし歯ははじめのうちほとんど自覚症状がありません。むし歯の初期の段階や予防処置では、歯の磨き方の改善、フッ素による洗口(うがい)やフッ素塗布により歯が再生あるいは強化されると報告されておりあります。

このように処置は子供に有効とされておりあります。特にフッ素は歯のエナメル質のカルシウム(ハイドロキシアパタイト)と結合し、丈夫な歯を作るからです。前途にありまますように子供のむし歯は発症すると一気に進むので保護者の方は、お子さんにフッ素塗布を是非実行して頂きたいと思っております。

米国では多くの州で水道水にフッ素が入っており、国を挙げてむし歯予防が徹底されているくらいです。現にむし歯の発症率は低いようです。

このようにむし歯は痛む前に、しっかりと対策を行うことで予防して治療回数も減り、痛い思いもせぬように快適な生活を送ることが出来ます。また最近では、むし歯になっても最小限にむし歯を取り除き、元に近い状態に戻す治療法が確立されるようになっていきます。是非、定期検診を受けて頂き、早期発見、早期治療に努めて頂く事をおすすめいたします。